

四国中央市教育委員会会議録

	<p>令和3年四国中央市教育委員会第10回定例会会議録</p>
日時	令和3年10月26日（火） 午後1時30分～
場所	四国中央市庁4階 401会議室
委員定数	5名
出席委員	教育長 東 誠、委員 篠原 祥子、委員 石川 卓、委員 星川 光代、委員 石村 義哲
欠席委員	なし
会議に出席した公務員の職氏名	<p>参与 眞鍋 葵 教育管理部長 石川 正広、教育指導部長 森実 啓典、 教育総務課長 宮下 浩、学校教育課長 渡邊 真介、 生涯学習課長 窪田 壮哲、文化・スポーツ振興課長 合田 秀人、 教育総務課長補佐 片岡 圭子、教育総務課係長 佐藤 崇、 教育総務課係長 篠原 勇弥、教育総務課 尾崎 由記子</p>
傍聴人	なし
日程	<p>開会宣言 教育長挨拶</p> <p>日程第1 令和3年第9回定例会会議録会議録の承認 日程第2 令和3年第10回定例会会議録署名人の指名 日程第3 諸般の報告 教育長より諸般の報告 各課長より事務報告 日程第4 議事 議案第34号 四国中央市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について 日程第5 その他 愛媛大学教育学部との連携協力に関する覚書について 眞鍋 淑郎 博士のノーベル物理学賞の受賞へのお祝いについて</p> <p>閉会宣言</p>
会議の概要	
事務局	<p>開会 午後1時30分 定刻になったので、令和3年第10回定例会を開会する。 なお、教育委員全員の出席を得られているので、本定例会の成立を確認する。開会にあたり、教育長よりご挨拶をお願いします。</p>
東教育長	<p>教育長挨拶 先週くらいから、朝夕の急な冷え込みにより、昨日は、秋を飛び越え一気に冬になったのかと思うような寒さであったが、今日はまた、日中は汗ばむくらいの気温に戻った。近年、地球温暖化による気候変動からなのか、日本の四季にも影響があり、本当に極端過ぎるような現象が増える一方で、快適</p>

四国中央市教育委員会会議録

な気候が少なくなっているように感じる。皆さんも体調には十分気を付けていただきたい。

さて、新型コロナウイルス感染症については、3か月余りの長い間、第5波への対処が続いたが、全国的に新規感染者が激減し、ようやく終息に向かっている。日本はワクチン接種のスタートが遅れたものの、非常に迅速なワクチン接種が行われたことや、コロナ感染者数の急増に伴う不安の広がりから人流が抑えられてきたこと、また、日本人にはパンデミック以前からマスクを着用する習慣があったこと等が要因としてあるのではないかと。これから秋の行楽シーズン、年末年始に向けて行動制限が緩和され、少しずつ元の生活に戻る方向に動くと思うが、これも大切なことであり、経済面での支援も行われている。ただ、海外の状況を考えるとこのままコロナが終息するとは思えず、また、愛媛県においても感染状況は落ち着いてはいるが、散発的な陽性確認は続いている。特に、東予地域の感染があり、感染リスクがゼロになったわけではない。ここまで落ち着いてくるとコロナを忘れていってしまいそうだが、学校教育においても、一気に活動を再開するのではなく、少しずつ段階を踏んで活動を戻していき、保護者にも理解と協力をいただきながら、基本的な感染対策の継続をお願いしていきたい。

そのような状況の中、10月14日から、市内小中学校の修学旅行が実施されている。まだ、行き先は四国内だが、小学校では藍染め体験やうちわづくりをしたり、中学校では吉野川ラフティングやフォレストアドベンチャー、大塚美術館等を見学したり、これまでになかった内容での実施となっており、キャンセル料も発生せず、よい思い出作りができているようで、一安心しているところである。

さて、先ほど、気候変動による四季への影響を述べたが、その「地球温暖化研究や気候研究の根幹をなす成果」を数多く挙げてこられてきた、当市新宮町出身の「真鍋 淑郎 博士がノーベル物理学賞を受賞」という、大変喜ばしいニュースが飛び込んできた。この大先輩の偉業は、子ども達にも、町への誇りと勇気や希望を与えてくれたことと思う。単身でアメリカに渡り、現在の地球温暖化だけでなく、未来の気候がどうなるのかを見据えた研究や、アメリカ国籍を取得し長くアメリカで研究を続けてきた理由を「日本人は他人に迷惑をかけないことを重んじるが、アメリカでは何でも好きなことができる。」という言葉、また、「好奇心が原動力」と言われる真鍋 博士が、少年時代を過ごしたあの新宮の豊かな自然からどのような影響を受けたのか想像してみたりする等、私は面識もなく何の関わりもないただの一市民にすぎないが、大変誇らしく、また、魅力的な内容の話題でもあった。この真鍋博士受賞に係る当市からのお祝い等について、後程、事務局から報告がある。

さて、教育委員の皆様には、今月は、小学校の陸上記録会や運動会への巡回等、大変お世話になった。どの行事も、コロナ禍での実施であったため、様々な対策や工夫をしながら、行事の意義を踏まえた活動をご覧いただけただのではないと思う。これから11月においては、学校教育では、授業実践交流会や学校人権・同和教育研究大会等の研究会が続く。11月15日には愛媛県の陸上記録会がある。また、四国中央市文化協会主催の、市全体の文化祭がしこちゅ～ホールで開催される。小学校親善音楽会については、昨年度は実施できなかったが、今年は初めて、しこちゅ～ホールを会場として開催される。大きなステージに立つのが初めての児童も多くいると思うが、良い経験になるのではないかと考えている。委員の皆様にはそれぞれご案内をさせて

四国中央市教育委員会会議録

事務局	<p>いただくが、お時間の許される中でお出席いただき、ご指導ご助言等いただきたい。</p> <p>それでは、本日の会議よろしく願います。</p> <p>これよりの議事進行については、教育長に願います。</p>
東教育長	<p>会議録承認</p> <p>会議録の承認について諮る。令和3年第9回定例会会議録案について、事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>令和3年第9回定例会会議録案の概要を説明する。</p>
東教育長	<p>令和3年第9回定例会会議録案の承認について諮る。</p>
全委員	<p>承認する旨答える。</p>
東教育長	<p>承認の旨確認し、令和3年第9回定例会会議録の原案を承認する旨宣する。既に指名の教育委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。</p>
東教育長	<p>会議録署名委員の指名</p> <p>令和3年第10回定例会会議録署名人に、星川 光代 委員、石村 義哲 委員を指名する。</p>
東教育長	<p>報告事項</p> <p>東教育長からは、特段の報告はなしとのこと。</p> <p>続いて、各課から事務報告を求める。</p>
宮下教育総務課長	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・施設に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>教育総務課所管関係の予定ではないが、10/31 衆議院議員選挙の投開票、11/2 庁内の庁議・調整会議が予定されている。</p> <p>続いて、学校給食に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>11/15 国民の食糧と健康を守る愛媛県連絡会が来庁予定であり、当課において対応する予定である。</p> <p>11/30 県調理場訪問として、東部学校給食センター及び三島小学校が対象となっている。</p>
窪田生涯学習課長	<p>生涯学習課所管の生涯学習・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/5、10/26 就学前人権・同和教育研究大会を、土居東こども園と妻鳥保育園が、それぞれの公民館で実施した。各50名ほどの参加であった。</p> <p>10/11 人権教育協議会人権・同和教育研究大会（社会教育部会）をしこちゅ〜ホールで開催し、内容は、昨年度実施した市民意識調査に関するパネルディスカッションを実施した。320人ほどの参加であった。</p> <p>10/14、22 第3回の新規採用転入教職員等人権・同和教育研修を、地域別に分かれて実施した。</p> <p>10/21 昨年度実施予定であった全国公民館研究集会在、今年度に延期さ</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>合田文化・スポーツ振興課長</p>	<p>れ1日のみの日程で松山市で開催された。当該集会で、松柏公民館が発表を行った。</p> <p>10/28 東予地区人権・同和教育研究協議会が、今治市で開催される予定である。当市からは、就学前と社会教育部の中で発表を行う予定である。</p> <p>11/9 愛媛県人権・同和教育研究大会が松山市で開催予定であり、中学校、高等学校の様々な発表を予定している。</p> <p>11/25 中四国社会教育研究大会が予定されており、当該大会も昨年度実施予定であったが、延期され今年度実施される予定である。本来ならば2日間開催の予定であったが、1日のみの開催予定である。</p> <p>ここに記載はないが、各地区の公民館祭り、文化祭の状況について説明する。現段階では、金生、川滝、中曽根、豊岡、嶺南、小富士、土居地区に関しては、中止の決定がされた。それ以外の公民館に関しては、作品展示のみ、または、作品展示とテイクアウト形式のバザーを実施する予定となっている。時期は10月から12月にかけての開催となっており、10/30 上分地区、11/7 妻鳥地区、11/13・14 金田、新宮地区、川之江ふれあい交流センター、11/21 関川地区、11/27・28 松柏、寒川、長津、蕪崎地区という日程で実施する予定である。</p> <p>文化・スポーツ振興課所管の文化振興・スポーツ振興・図書館等に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/1 「まちを行く-土居の隠れたパワースポット編-」というイベントをバスを借り上げて実施した。当初人数を20名としていたが、感染防止対策として半数の10名に減員し実施した。行き先は、お作池、天満神社、大川のクスノキ等を回り、大変好評であった。</p> <p>10/29から四国中央市文化協会の文化祭の前期、その翌週11/5～7にかけては後期の文化祭がしこちゅ～ホールで実施される。</p> <p>11/12・13 暁雨館庭園のライトアップを行い、同日の11/13に加藤 登紀子トーク&ライブを行う予定である。100名のところを感染防止対策として80名に減員し開催する。</p> <p>11/29～12/5 秋季県展四国中央市移動展をしこちゅ～ホールで行う。</p> <p>スポーツ振興については、11/3 第16回スポーツアドベンチャーを実施し、市内在住の小学生以下の子ども達を集め、ラグビー、バスケットボールやスポーツクライミング等を行う予定である。</p> <p>11/27 親子わくわく野球体験教室を実施予定で、マンダリンパイレーツの選手と一緒に、打つ・投げる・捕るといった野球の基本動作を親子で楽しく学べる初心者向けの野球教室となっている。</p> <p>図書館については、三島図書館、川之江図書館、土居図書館共に、これまで行事を中止していたところ、10月から平常どおり実施している。</p> <p>歴史考古博物館については、引き続き「考古学へのトビラ～カタチは変わる～」の企画展を開催している。</p> <p>暁雨館については、10/1～10 野口 英世の巡回展及び3日の講演会は、コロナの影響で延期としている。</p> <p>11/12・13 屏風コレクション展を行う予定である。</p> <p>各施設の状況だが、図書館に関しては、現在のところ利用時間を1時間以内とする時間制限のみ実施している。</p> <p>体育館に関しては、これまでは市外の方の利用を禁止としていたが、明日から解除し、通常どおり使用可能となる。</p>
----------------------	--

四国中央市教育委員会会議録

渡邊学校教育課長	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/5 市中学校新人体育大会の陸上競技をもって、9/28から行われた新人戦を無事終えることができた。</p> <p>10/6 小学校の陸上運動記録会は、中学校と同様に、無観客での実施であったが、すばらしい天気の中、無事に終えることができた。</p> <p>10/9 小学校運動会が開催され、教育委員の皆様には大変お世話になった。時間短縮、種目の変更等した中であつたが、大変すばらしい運動会が行えた。</p> <p>10/15、22 今年もそれぞれの地域での神事もあるため、地方祭の臨時休業とした。</p> <p>10/16 小規模特認校である新宮小中学校の入学希望者説明会を行った。約80名の方が参加され、関心の高さを感じた。新宮小中学校は、今後、10/21に愛媛大学の紙産業イノベーションセンターとの連携授業を、10/29に公開授業を行う予定である。なお、小規模特認校としての入学募集期間は11/1～11までとし、11/21から土曜、日曜を利用した3日間で、親子面接を実施する予定である。今年の会場は、新宮小中学校で実施する予定である。</p> <p>11/17 小学校親善音楽会を予定しており、今年からしこちゅ～ホールに会場を替え、2部制で実施する予定である。</p> <p>続いて研究会等は、10/27から小中授業実践交流会として、校内研修を相互に見せ合うような機会を設けている。</p> <p>11/2 学校人権・同和教育研究大会が、小学校4校、中学校2校で実施予定である。</p> <p>中止となった行事は、10/23、24 川之江・新宮地域児童・生徒作品展と、10/28 中学駅伝競走大会は、中止となった。</p> <p>続いて、少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>10/5 パトカー・青パト合同パトロールを、10/6 川之江地区補導委員会を実施予定である。</p> <p>11/11 県青少年健全育成推進大会は、リモートでの参加となっている。</p> <p>10/8 子どもを育てる市民会議が主催する、令和3年度青少年健全育成講演会は、2010年にプロフェッショナル仕事の流儀にも出演された高知大学の岡田 倫代 教授の講演会を実施し、大変すばらしい内容であった。</p>
東教育長	<p>只今の各報告について、意見質問等がないか問う。</p>
篠原祥子委員	<p>報告に関してではないが、中之庄公民館には、災害時に避難した際の飲料水や食料、布団等の防災物品がないと聞いた。新しい公民館にはそのような物品を備蓄していると思い込んでいたが、私の勘違いであった。思い返すと、川之江ふれあい交流センターには備蓄倉庫があつたが、中曾根公民館や金生公民館にはなかった。学校や集会所に置いてある場所もあると聞いたが、設置する施設は何か基準があるのか。</p>
窪田生涯学習課長	<p>公民館には、そのような備蓄品を保管する場所はなく、今後、市として設置する予定も現在はない。有事の際は、防災担当課が防災センターで保管している備蓄品を、各避難所へ配布する流れになる。それぞれ分散し保管すると、場所の確保の問題に加え、物品の管理自体が困難である。川之江ふれあい交流センターの備蓄倉庫だが、当該倉庫と中の物品等も、防災担当課が管理しており、生涯学習課が管理しているものではない。</p>

四国中央市教育委員会会議録

篠原祥子委員	<p>自主避難というのがあるが、その際は、自身で飲食物を持参して避難するのか。</p>
窪田生涯学習課長	<p>お見込みのとおりである。 あくまでも自主避難なので、そのようになる。飲食物だけでなく、基本的に寝袋等の寝具についても持参していただく。 自主避難でなく、避難指示等、危険回避のために市からの要請で避難する場合は、市で準備することになる。</p>
東教育長	<p>防災担当課に在籍が長かった、佐藤 崇 係長から何かあればお願いする。</p>
佐藤教育総務課総務係長	<p>以前、公民館等に細かく配置する計画もしたことがあるが、設置場所のスペース確保の問題に加え、市がすべて準備をしてしまうことで、住民が自分自身で防災物品を何も用意しなくなることが懸念され、返って防災意識の低下を招く恐れがあることから、現実的ではないとの判断であった。 また、自主避難等の第1次避難の際は、自分の物は自分自身で持参していただくのが原則であり、避難の長期化や災害状況等の悪化により避難指示となった際には、自身で用意した物に加え、更に市が用意した貯蔵品を配布することを想定しているため、備蓄品はそれに見合った量しか保管していない。 現在、避難時に必要となる物品等をまとめた防災バック等も、様々な場所で販売されているので、どんなものが必要か分からない場合は、ひとまとめになったそのような商品を購入されるのもよいと思う。</p>
篠原祥子委員	<p>私もだが、当市の方は危機感があまりないように感じる。用意しようと思いつつ、準備できていない。先ほどの話を聞いて、準備をしようと思う。</p>
東教育長	<p>他に意見質問等ないか問う。</p>
星川光代委員	<p>新宮小中学校の入学希望者の説明会は、基本的に小学校に入学する新小学1年生が対象となるのか。</p>
渡邊学校教育課長	<p>募集の対象は、募集要項に記載しており、今年度については、新小学1年生、2年生、3年生、新中学1年生となっている。この対象の学年のお子さんと保護者の方にご参加いただいた。</p>
東教育長	<p>学年の定員があるので、その定員に満たない学年は募集がある。</p>
東教育長	<p>他に意見質問等ないか問い、特にない旨確認し議事に移る。</p>
東教育長	<p>議事 議案第34号「四国中央市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について」を上程し、議案の説明を求める。</p>
渡邊学校教育課長	<p>議案第34号について、資料に基づき議案を説明する。 提案理由としては、四国中央市いじめ防止対策委員会委員の任期満了に伴い、四国中央市いじめ防止対策委員会及び四国中央市いじめ問題再調査委員</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>会条例第5条第2項の規定により、同委員を委嘱するものである。 5名の委員全員が再任となり、任期については、令和3年11月1日から令和5年10月31日までとなる。</p>
東教育長	<p>只今の議案第34号の説明に、意見質問等ないか問う。</p>
石川 卓委員	<p>議案の委員の選任については異議がないが、関連して伺いたい。この条例は平成27年9月30日から施行されているが、今までにこの「重大事態」に至った事例はあるのか。</p>
渡邊学校教育課長	<p>今まで「重大事態」が発生し、当該委員会を招集し、調査を行ったことは1度もない。</p>
石川 卓委員	<p>もう1点伺いたい。今回、教育委員会側でこの5名を選任することとなるが「いじめ問題再調査委員会」は行政側の担当課が窓口になるため、委員が重複しないよう委嘱した際は、行政側の担当課に情報提供が必要と考える。</p>
渡邊学校教育課長	<p>そのようにさせていただく。</p>
東教育長	<p>他に意見質問等ない旨確認し、議案第34号について異議ないか問う。</p>
全委員	<p>異議ない旨伝える。</p>
東教育長	<p>異議ない旨確認し、議案第34号「四国中央市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について」の原案を可決する旨宣する。 以上で日程に示された議案を全て終了したことを宣し、続いてその他の案件に移る。</p>
東教育長	<p>その他 「愛媛大学教育学部との連携協力に関する覚書について」事務局の説明を求める。</p>
渡邊学校教育課長	<p>去る10月22日に、愛媛大学教育学部と当市教育委員会との連携協力に関する覚書を締結したので報告する。 愛媛大学教育学部と当市教育委員会は、平成18年2月22日に締結された本市と愛媛大学との連携に関する協定書に基づき、様々な形で交流を行ってきたが、今後の協力を更に強化するため、今回の覚書を締結した次第である。 これまでの主な連携協力は、平成29年より新宮小中学校の特認校事業としてサマースクールを実施している。また、教員研修としてのキャリアアップ研修では、喫緊の教育課題、生徒指導、ICTの活用等、テーマに沿った研修を、愛媛大学の協力の下、実施している。 愛媛大学から今年の7月27日に、佐野 副学長、日野 教育学部副学部長（附属中学校長）、高橋 特定教授が来庁され、小規模特認校での体験実習等、地域実習の充実についての協力依頼があったことを受け、協議を重ね、今後の連携強化のため、連携協定の下覚書を締結するに至り、10月22日に愛媛大学 教育学部の会議室において、東 教委長、小助川 元太 教育学部長が覚書を交わしたという次第である。</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>今後の連携内容は、新宮小中学校のサマースクールについては、高橋 特定教授の強力な協力体制により実施できていることから、双方担当教員等が代わっても、より安定的に継続可能な事業となるよう連携し、また、大学の専門性を活かした当市の教員研修の実施、大学にとっては、本市での体験的な教育実習、学生の社会貢献活動の場の提供等、双方にとって、価値のある豊かな教育活動に繋がると考えている。</p>
東教育長	<p>只今の説明に意見質問等ないか問う。</p>
篠原祥子委員	<p>松山方面の学校は、これまでも大学との連携が多く、当市は大学が遠方であり距離のためか、連携が少ないと感じていた。</p> <p>近年、少しずつ増えていき、今回の覚書により、更に充実することが期待され、子ども達にとっても、より良い刺激を受けることができると感じる。</p> <p>今後も、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
東教育長	<p>愛媛大学教育学部と当市教育委員会にとって、双方に価値がある事業となるよう進めていきたい。今後も、取り組み内容等を報告させていただく。</p>
東教育長	<p>他に意見質問等ない旨確認し、次の「真鍋 淑郎 博士のノーベル物理学賞の受賞へのお祝いについて」事務局の説明を求める。</p>
森実教育指導部長	<p>皆様ご承知のとおり、当市新宮出身の真鍋 淑郎 博士がノーベル物理学賞を受賞と発表された。現在もプリンストン大学の上席研究員として、現役の研究者であり、受賞の理由が、「気候の物理的モデリング、気候変動の定量化、地球温暖化の確実な予測」に関する業績という非常に難しい内容ではあるが、現在、SDGs が世界的な課題として話題となっている中で、非常にタイムリーな受賞である。当市新宮出身の方が、本当に数少ないノーベル物理学賞の受賞という快挙を成し遂げられたため、市として、また、母校である現在の新宮小中学校、教育委員会として、様々な形で祝意を表している。</p> <p>市としては、市長、議長から、お祝いのメッセージを大学へ電子メールによりお送りし、市庁隣の市民交流棟、新宮地区の霧の森、新宮窓口センターには懸垂幕を掲げ、また、新宮小中学校には、河を挟んだ道路側から見えるよう横断幕を掲げ、様々な場所で祝意を表している。</p> <p>市庁1階のロビーでは、地元の方よりお借りした写真等を展示した、真鍋博士のノーベル賞受賞展示コーナーを設置している。</p> <p>今後の予定となるが、現在、コスモステレビの協力の下、地元の様々な方にお願ひし、メッセージビデオの作成をしており、新宮小中学校の子ども達が進行役となり、真鍋 博士にとっても、懐かしい様々な場所を撮影したり、様々な方からコメントをいただいたりし、最終的には完成した DVD を真鍋 博士にお送りする予定である。</p> <p>学校、教育委員会としては、先日、市長、議長がメッセージを送られた後、教育長、新宮小中学校長、生徒会長の三者から、それぞれお祝いのメッセージを、また、児童生徒全員によるお祝い動画を一緒にお送りした。忙しく時間もないこととは思うが、お願ひできるのであれば、後輩達である新宮小中学校の子ども達、また、市内の子ども達に対して、オンラインでも構わないので、授業をしていただければと幸いですとのメッセージも添えており、是非、このメッセージをご覧いただきたいと思っている。</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>今後の予定としては、このようなすばらしい業績を挙げられた内容であるため、例えば、市内学校の総合学習の時間等で、真鍋 博士の研究成果や、それに関連した教材を活用した授業を行えないかとも検討している。</p> <p>また、12月10日が、ノーベル賞の授賞式となっており、その日に合わせ、市内全小中学校の給食の献立を、お祝い給食として赤飯にする等し、市内の子ども達も一緒に、お祝いができればと考えている。</p> <p>取り急ぎメールにてお祝いのメッセージを送っているが、直筆の子ども達の手紙等を直接お送りし、できればまた、地元四国中央市新宮を思い出していただき、当市との繋がりができればと考えている。</p>
東教育長	他に報告事項等ないか問う。
宮下教育総務課長	次回定例会の招集を願う発言。
東教育長	<p>次回、教育委員会第11回定例会を令和3年11月25日（木曜日）午後1時30分から、四国中央市庁4階401会議室に招集する。</p> <p>その他に報告等ないか問い、報告意見等ない旨確認する。</p>
東教育長	<p>閉会 午後2時10分、閉会を宣する。</p> <p>以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。</p> <p>教育委員会会議録署名人</p> <p>四国中央市教育委員会 委員</p> <p>四国中央市教育委員会 委員</p> <p>会議録作成者 教育総務課 片岡 圭子</p>